

創世記

創世記全体のテーマと流れ

天地創造	人類の罪	ノアの洪水	諸国民と言語の始まり	アブラハムの家族	ヨセフ、イスラエルの民
1章－2章	3章－4章	5章－9章	10章－11章	12章－38章	39章－50章

登場人物：アダム、イブ、ノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ
(▶覚え方、アノ～、アブラ～イヤヨ)

45章のポイント

45章では一人の人の和解が全家族を和解と回復に導く姿が記録されていました。今まで自分の本当の姿を隠して対応して来たヨセフでしたが、自己中心的だった兄弟ではなく兄弟を愛し、父の心を思いやる事のできる兄弟へと変化した兄達を見、心が動かされヨセフは自分の身分を明かしました。またそれを通して、兄達を叱責するのではなく、大きな創造主の計画の中で、自分が先にエジプトに送られたのだと証します。人間的には怨みつらみが爆発する場面ですが、主の中でそれを解決して行ったヨセフの姿がありました。そのヨセフの姿を通して、兄弟達との和解も行われ、また父ヤコブにとってはベニヤミンも帰郷しヨセフの生存も確認できるという、言葉にできない喜ばしい場面となりました。一人の和解が、一人が自分の人生を創造主の目線で理解した事で家族に大きな和解と回復をもたらす機会となりました。

学びましょう

1. 46章1節～27節を読んでみましょう。

2. 46章1節～27節のポイントを把握してみましょう。

(1)ベエル・シェバにて(1節)

ヨセフの生存が確認されただけでなく、国務長官にまでなっていた事に驚いた父ヤコブ。ヨセフや王様の配慮でエジプト(ゴシェンの地)へと迎え入れられる事になりました。45章20節では王様に、カナンの家の家財には未練を残す必要はない(程に待遇する)と言われましたが、46章1節では「自分の持ち物をことごとく持って出発し」と記録されているのは、父ヤコブの心に若干の不安があった事が読み取れます。そんな父ヤコブを創造主はベエル・シェバという場所に案内されます。ここはヤコブにとっても大切な場所でした。ヤコブの祖父アブラハムがアビメレクと和睦を結び契約の印として柳の木を植えた場所でもありました(創21:33)。また、アブラハムとイサクが住んだ場所でもありました(創22:19)。ヤコブはカナンでの最後の時間を、創造主との思い出の場所で礼拝し過ごしました。それは、長い間の恵みを思い出す感謝な時間、アブラハム・イサク・ヤコブへと祝福の契約を守られる創造主の偉大さを噛み締める時間だったでしょう。(創造主訳聖書には記録されていませんが、本章の1節はヤコブではなく「イスラエル」という名で記録されています。創造主の契約と祝福を思い起こされる名前でもありました/創32:28)

(2)心配を取り除き、励まされる創造主(2～7節)

ベエル・シェバでの礼拝を終えた時、創造主は幻の中でヤコブに語られました。「エジプトへ行く事を恐れる必要はない(5節)」と。実際、父ヤコブは自分の生まれ故郷を離れる事に心配を覚えていました。1節でも記録されているように未来に対する保証への確信もなかったのが、全財産を持って移動する事にしました(王様は保証していたに関わらず)。また、4節で書かれているように自分の最期を誰と過ごすか、どこで過ごすかという心配が老年のヤコブにはあったのです。そのような悩みと心配をご存知の創造主は、4節で最愛の息子に看取られると御言葉を下さいました。

創造主は全ての悩みや心配をご存知なお方です。それを知っておられて、私たちを導かれるのです。創造主が導かれたと信じるなら、今の目の前に心配や不安があっても従って行きましょう。従う前は不安や心配がついて来ます

が、創造主に従い一歩踏み出した時には、平安がついてきます。ヤコブとその家族は食糧を得るためではなく、主に従うために全財産と全ての家族を伴ってベエル・シェバを離れました。

分かち合いましょう

ヤコブのように、自分にとって恵みを経験した具体的な場所や時間、礼拝や集会などがありますか。それを思い出すとき、主は私たちにどのような励ましを下さるでしょうか。

皆さんは将来や人生の最期に関する不安はあるでしょうか。その中で、私たちは立ち止まるべきでしょうか。それとも進むべき先はあるでしょうか。

1. 教会と記念館の為

(1) ビジョン達成のために

- ①「創造をベースに、99%へ福音を」という教会のビジョンが、創造主によって祝福されますように。
- ②2021年度ビジョン「創造主を信じ、その大能の力によって強くして頂きなさい」の実現の為に。クリスチャン一人一人が、主に繋がり、主によって強められるように。

(2) 教会のため

- ①教会の本質的な働きー礼拝と伝道の働きの為
- ②教会の共同体の関係祝福のために
- ③教会の霊的成長・成熟のために
- ④地域との関係
- ⑤ユースの学び会の為に

(3) ノアの箱船記念館のため

- ①ノアの箱船記念館が伝道のために、クリスチャンの信仰形成の為に用いられます様。
- ②ノアの箱船記念館の財政の祝福、ノアの歩道の為

(4) 教役者のために①堀越葉満主事のため ②宮崎聖牧師家庭のため

2. 教会員の方々の為に

(1) 病にある方々の為に・平安があります様に

(2) 教会からしばらく離れている方の為

(3) 今月の祈禱課題の方々のために

3. 伝道と宣教の為

(1) 洗礼準備・聖書の学びをされている方々のため

(2) 受洗後の学びをされている

(3) 伴侶の救いの為

(4) 伝道のためのグループ(感染から守られる様に)

- ①レプトン ②ゴスペル・フラ ③卓レシア ④女性集会
- ⑤創愛クラブ ⑥クラフトカフェ ⑦ノア・パーク

(5) ロゴス・ホープ号乗船